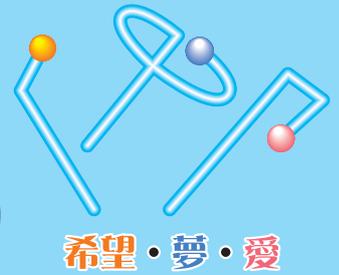


# せんだん



一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

## 新年のご挨拶

2021年、新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

当法人は本年6月に法人創立35周年を迎えます。こうした節目を迎えるたびに一れつ会の誕生と今日までの発展の軌跡に、どれだけ多くの方が待ち望み、どれだけ多くの方が尽力され、どれほどの努力があったか、私たちはその思いをしつかりと引継ぎ、繋いでいかななくてはならないという気持ちで心新たにしております。

一れつ会の誕生にも時代的な背景がありました。1979(昭和54)年に養護学校が義務化され、すべての障がいのある人たちの教育を受ける権利が具現化されました。1981(昭和56)年に国際障害者年として世界的にも障害者福祉に光が差し込む契機が訪れました。そして広島県福山市に福山北養護学校(現在の広島県立福山北特別支援学校)が開校されました。その後、高等部開設とともに保護者の多くの方が抱かれていた卒業後の進路として「共同作業所」の開設が進められました。その「共同作業所」の専任の指導者として当時神辺町出身で神戸市の総合福祉施設に勤務していた小林義和(前理事長)に所長への就任依頼があり、交渉を重ねる中で決断。1982(昭和57)年9月、「せんだんの家」作業所の所長に就任しました。そして、社会福祉法人の設立と認可施設としての「せんだんの家」の開所へ向けてスタートを切りました。しかし、認可施設の建築・開所には社会福祉法人格の取得が必須であり、建築費もすべてが補助金で賄われるのではないため、土地の確保や自己資金等の資金確保が必要でした。そのため約5年間、日中は利用者とともに作業活動をし、夜間は資源回収を実施し換金できる物資の回収を行いました。また、物品販売やイベントへの出店活動等、保護者とともに資金確保に奔走しました。法人設立までには幾多の困難や厳しさがありました。多くの方の絶え間ない努力や、法人設立に向けた活動に賛同してくださった地域の方、ボランティアの方等のご支援・ご協力があって、5年余りの歳月をかけて1987(昭和62)年、広島県知事から念願の社会福祉法人の認可を受けることができました。そして、翌年の1988(昭和63)年4月、福祉の里と呼ばれる加茂の地に通所施設「せんだんの家(定員40名)」を開設するに至り、その後、次の目標とする入所施設の開所に向けて動き出しました。

あれから35年。「働く場」として、そして重度の障がいがある方の「活動する場」として、「親戚あとの生活の場」として、「自立する場」として等、様々な事業の立ち上げを目標に先代が駆け抜けてまいりました。この35年の一れつ会の歴史を、本年の「地域だより」で当時を振り返り、皆様にご紹介させていただきたいと考えています。

法人設立の理念を決して忘れることなく、先輩達が築いてきた歩み・皆様方とのつながりを大切に、多くの皆様方や地域社会から尚一層の信頼を得ることができるよう本年も努力を重ねてまいります。

社会福祉法人 一れつ会 理事長 小林 智久

## 社会福祉法人 一れつ会



### ●法人本部

〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地  
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740  
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp

### ●事業所一覧

- せんだんの家 (生活介護、就労継続支援B型)
- いこいの家 (施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援)
- ウィズ (就労継続支援A型)
- ほほえみ (生活介護)
- 居宅介護支援センター和らぎ (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)
- ほっと (一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業)
- しんぷおにい (生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援)
- 春日寮 (施設入所支援、生活介護) かつが (短期入所、日中一時支援)
- 青葉 (生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練(生活訓練))
- いずみ (共同生活援助(グループホーム))
- かがやき (放課後児童クラブ)

# 新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

一れつ会では、現在も新型コロナウイルス感染症対策として感染リスクを最小限に抑えるための行動基準を定め、3密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施はもちろんのこと、事業所館内や公用車の消毒を徹底するなどの取り組みを続けております。また、外出や行事等イベントの自粛も継続して行っており、職員をはじめとして、利用者や家族のみなさま、そして関係者のみなさまにご理解とご協力をいただきながら、感染防止に努めております。

## ノリリフティングケア ～現在の取り組み内容とスカイリフト導入について～

ノリリフティングケアは「抱え上げない・持ち上げない・引きずらない」、利用者さんにとっても支援員にとっても優しいケア方法です。一れつ会では、法人全体の取り組みとして、ノリリフティングケアの普及に向けて研修を進めています。年度当初の予定では、なるべく多くの支援員が一度に習得できるように集団研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、規模を縮小して少人数で実技研修をしたり、リモートを活用して外部講師による講義を受けたりしています。

この研修と並行して、現在、いこいの家とほほえみでは内部委員会を立ち上げ、より一層、ノリリフティングケアの意識や技術が定着するよう取り組んでいます。今後、いこいの家とほほえみの取り組みの過程をモデルケースとして示し、その他の事業所はそれにならう形でノリリフティングケアの普及を進め、法人全体に広げていきたいと考えています。

さらにこの度、いこいの家に「スカイリフト」という人の立ち上がりの動作を補助する福祉用具を2台導入しました。「スカイリフト」とは車椅子への移乗や排せつの介助の際に使用する福祉用具です。電動で立ち上がりの動作を行ってくれる為、人による力任せの介助よりも利用者・支援員双方が安心して安全に負担なく移乗の動作を行う事が出来るようになります。この「スカイリフト」についても、こういった目的で使用するのか、どんな効果があるのか、どのような時にどのように使うのか、注意点は何か、といったことを事前に習得した職員が講師となり、い

こいの家の全支援員が学んでいるところです。

研修で、「スカイリフト」を使用した時の感想を紹介します。介助される側の体験においては、「人に抱え上げてもらった時は、相手の介助の仕方によっては身体の痛みを感じることもや怖いと感じることもあったけれど、『スカイリフト』は自分の身体が安定するので安心できる」と、肯定的な言葉が多く聞かれました。また、立ち上がりの補助を行う側の体験では、大半の支援員が「相手を立ち上げがらせる時、これまでは相手の身体を抱え上げなければならなかったもので、腰に痛みを感じていた。でも、『スカイリフト』があれば抱え上げなくてもよいので腰への負担が全くない」という感想がありました。中には、「抱えて移乗する場合には技術的なことに集中しなくてはならず、利用者さんへの言葉かけをする余裕がない時もあったけれど、この『スカイリフト』を使用すると、操作しながら利用者さんの表情を見ることができたり、声をかけたりすることができるので介助する側も安心できる」という声もありました。

こうした研修の中で、ノリリフティングケアは、介助される側と介助する側の双方にとって、身体的な面だけでなく精神的な面でも有益なものであることを実感しています。今後も法人全体でノリリフティングケアの普及と浸透を進め、支援員が健康で元気に働くことで、利用者の方々に安心して生活して頂けるよう努めていきたいと思っております。

(いこいの家 園田 昂太)



②立ち上がるとこのようになります



①機器を操作し、立ち上がりを支援します



スカイリフト本体

## 今だからこそ…テイクアウト!!

しんぷおにいでは11月より、『誕生日テイクアウト企画』をはじめました。例年であれば、食べたいものや気になるお店の中から外食先を決め、誕生日ごとに外食を行っていました。

「お寿司！美味しそう～！」

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、3月から外食を控えており、利用者のみなさんが楽しみにされている年に一度の楽しい誕生日外食が中止になっていました。利用者さんからは「誕生日外食はいつになったら行ける?」「今年は〇〇を食べたいんだけど」という声があがるようになりまして。そこで、外食をせずにしんぷおにいでお祝いできる方法としてテイクアウトを考えました。



「初めてのテイクアウト!美味しかったです。」

まずは利用者さん一人ひとりに説明です。「今は感染のリスクが高いため、外食はできないけれど、お店のものをテイクアウトして

しんぷおにいでお祝いするという形はどうでしょうか?」と提案したところ、「本当はお店に行きたいけど、コロナだね。」「テイクアウトは初めて!いいよ!」などの返事がありました。次に、「何が食べたい?」と聞くと、「お寿司!」「肉!」「唐揚げ!」「うどん!」などなど、たくさんの方の希望が笑顔とともにあふれ出しました。

初回の11月10日(火)には、お寿司をリクエストした8名の方が『誕生日テイクアウト企画』に参加され「お寿司食べたいよ!」「美味しかったよ!」「外食もいいけどテイクアウトもいいね」と、たくさんの方に話しておられました。企画に参加された利用者さんの幸せそうな表情はしっかりとカメラに収め、お一人ずつ写真にして、台紙に貼ってプレゼントしました。

感染症予防のため、この先もしばらくは行事や外出等を積極的に実施することは難しそうです。そんな今だからこそできることを考え、みなさんの笑顔につながるよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。

(しんぷおにい 村田 佳織)



手作りの写真ケースに入れてプレゼント!

## みんなで健脚!トレニングマシンで!



平行棒を使って歩行訓練

いこいの家では、利用者さんの体力維持・向上を今年度の目標としており、室内で使えるトレニングマシンを2種類、導入しました。



毎日の運動で健康維持

もともと、平日の午前と午後には機能訓練を実施しており、これまでは、体力の維持や向上のために、気候がよい時には事業所の近くの池の周りをウォーキングしたり、屋外でフライングディスクやグラウンドゴルフをしたりしていました。今回、新型コロナウイルス感染症予防で外出を自粛しなければならなくなったことから、これらのトレニングマシンが大活躍しています。

筋力が少ない方もペダルの回転に任せて足を動かすことができる優れたものです。利用者さんは、やって来た6台のトレニングマシン(リカンベントバイク2台、電動ムーブサイクル4台)に興味津々で、支援員から説明を受けると早速取り組まれました。「自転車みたいで乗りやすい」、「ペダルが自動で動くからしんどくない」、「これなら続けられる」といった前向きな声飛び交っています。

「リカンベントバイク」は、後方に背もたれ機能が付いているトレニングバイクで、筋力と持久力を鍛えることができます。足腰への負担が少ないのが特長です。もう一つのトレニングマシンは「電動ムーブサイクル」で、こちらは

これまで屋外で行っていた活動、室内で行っていたバランスボールを使った運動やDVDの映像に合わせて行う体操などと組み合わせ、今後も利用者さんたちに元気で笑顔あふれる生活をしていただけるよう、各個人の運動レベルに合わせた機能訓練を提供していきたいと思えます。

(いこいの家 三宅 友彦)

座ったままでも楽しく電動ムーブサイクル



座ったままでも楽しく電動ムーブサイクル



リカンベントバイクで脚力を鍛えています

## 秋空の下でイベント満喫



ミニゲーム「なかなか難しいなあ〜。」

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防により法人行事が中止となりました。春日寮は入所施設のため、外泊や外出を自粛し、感染予防をしていることから、利用者さんにとって楽しみの少ない日々が続き、気分が沈んでいるような様子が伺えました。そこで、支援員みんなで「春日寮で何か行事の雰囲気味わえるイベントが出来ないか」と考え、11月11日（水）に初めて、利用者さんと職員だけで『春日寮 秋祭り』を開催しました。



手作りポスターで楽しく告知しました



(春日寮 高信 雄也)

「楽しかったよ」、「ジェラートは美味しかった」との感想があり嬉しく思いました。春日寮では、今後も感染予防対策を行いながら、入所利用者の方々が充実した時間を過ごせるように努めていきたいと思えます。

今年度は、新型コロナウイルス

の感染予防により法人行事が中止となりました。春日寮は入所施設のため、外泊や外出を自粛し、感染予防をしていることから、利用者さんにとって楽しみの少ない日々が続き、気分が沈んでいるような様子が伺えました。そこで、支援員みんなで「春日寮で何か行事の雰囲気味わえるイベントが出来ないか」と考え、11月11日（水）に初めて、利用者さんと職員だけで『春日寮 秋祭り』を開催しました。

当日は、昼食にお寿司とステーキのテイクアウトを行い、密にならないよう会食しました。午後からは、ウォークラリーを開催し、



ジェラートの移動販売車が来ました！



ペットボトルボウリングでストライク！

## ワクワクほくほく おいも祭り

11月3日（火）、青葉敷地内の畑でいもほりを行いました。青葉では毎年恒例となっている行事の一つということもあり、利用者さんは慣れた手つきでツタを切ったり、鍬（くわ）でさつまいもを掘り起こしたりと、支援員が何も言わなくとも率先して動かれていました。



「大きいもが出て来るかな〜」

あつてか、昨年の秋よりも多くのさつまいもを収穫することが出来ました。

11月28日（土）は、利用者のみならずスタッフが待った待ったおいも祭りの日。幸いにして天気も良く、利用者さんたちは手際良く、さつまいもをキッチンペーパーやアルミホイルで包んでくれました。包んだいもを遠赤外線の入った2層式



アルミホイルに包んでいます

のドラム缶に入れた、青葉周辺の落ち葉や炭を使って、じっくりと蒸し焼きにしました。支援員が、落ち葉や炭に火をつけると、「うわっ。火が付いたぞ。」「よっしゃ。焼きいもつくるぞ。」と活気あふれる声のもと、焼きいも開始となりました。

いもが焼きあがるまでの間は、フライングディスクやグラウンドゴルフをしながら待ちました。でも、どうしてもおいもが気になる！つつい、視線はいもが焼けている方へ…。そして、いもが焼ける何ともいいにおいがしてくると、「ねえ、まだら?!」「早く食べたい!」の声も。みなさん、首を長くして待ちました。

やっと焼き上がって、「さあ食べよう!」。でも、焼き立てホカホカのおいもは、熱くてなかなか口に入れることができません。やっと味わえるようになると、「美味し〜い!!」の音が。たくさんのおいもが、一瞬にして無くなってしまいました。おいもを使ってスイートポテト作りも楽しみました。「また来年もやりたいね」と、みんな楽しんで秋のおいも祭りを終えました。



「焼きいも、いただきます♪」

(青葉 鈴木 美月)



# Health

## 感染症から身を守ろう！

この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの「同時流行」が心配されています。現時点で分かっている新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの違いを紹介します。



	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
症状	発熱に加えて味覚・嗅覚障害を伴うことがある	高熱・関節痛
潜伏期間	1～14日（平均5～6日）	1～3日
無症状感染	無症状でもウイルス量は多く、感染力が強い	無症状ではウイルス量は少ない
ウイルス排出期間	発症1日前より排出ピーク・感染力のあるウイルス排出は10日以内	発症後2～3日後がピーク 5～10日は排出される
ワクチン	開発中	季節ごとに有効性は異なる
治療	軽症例について確立された治療薬はない	内服薬・吸入薬等がある
肺炎等の合併症	しばしばみられる	少ない

感染症対策の第一歩は、日々の**感染予防対策**と**健康管理**です。

基本的な感染予防対策である、**マスクの着用・うがい・手洗い・手指消毒・定期的な換気（1時間に1回、換気時間は5～10分程度）・湿度保持（湿度は50～60%を保つことが望ましい）**を徹底し、感染症から身を守り、健康的な生活を送りましょう。

（参考）一般社団法人日本感染症学会提言 「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」

ポイント！

**その1.**アレルギーなどがない方はインフルエンザの予防接種を積極的にされることをおすすめします。



**その2.**糖尿病や慢性呼吸器疾患等の早期発見と治療をおすすめします。



**その3.**毎食後に歯磨きをして口腔内を清潔に保ち、バイキンをやっつけていきましょう。



**その4.**喫煙者は感染しやすく重症化しやすい為、禁煙をおすすめします。



**その5.**3密（密閉・密集・密接）を避け、マスクをしっかりとしましょう。



**その6.**栄養・睡眠をしっかりとして生活のリズムを整え免疫力を高めていきましょう。



（春日寮 看護師 山崎 綾子）

## クリスマス交流会

例年、加茂地区は福山暁の星女子高等学校の生徒さんと、三吉地区は福山暁の星中学校の生徒さんとクリスマス交流会を行っています。

今年は交流会の自粛をせざるを得ませんでしたが、福山暁の星女子中学・高等学校の生徒さんとお互いの代表者によるプレゼント交換という形で、交流させていただきました。生徒さんによる合唱やハンドベル演奏、絵本の読み聞かせなどのメッセージ入りDVDと心のこもった手作りプレゼントをありがとうございました。

（ほほえみ 小林 千代）



プレゼント交換



ほほえみにいただいたリース

## ありがとうございました

（10月～11月）  
（順不同）

### ご寄付

- ・加茂学区自治会連合会様
- ・日本生命保険相互会社様
- ・福山市様

- ・広島県社会福祉協議会、
- ・広島県知的障害者福祉協会様
- ・山口 友男様

### ご寄贈

- ・作陽短期大学様
- ・山口 友男様
- ・林 邦子様

- ・安達 浩様
- ・山崎 雄二様
- ・得能 公平様
- ・田邊 敦也様

- ・島谷 郁恵様
- ・田川 喜久様
- ・川上 セツコ様
- ・日下 清美様

## 実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学（10月～11月）

### 実習生

- （加茂地区）・福山平成大学様
- （三吉地区）・作陽短期大学様
- （春日地区）・福山平成大学様

- 22名
- 2名
- 5名

- 就業体験実習
- ボランティア
- 見学

- （春日地区）
- （三吉地区）
- （春日地区）

- ・広島県立福山北特別支援学校様
- ・日下 清美様
- ・陽気株式会社様

1名

## 「美味しい！」をお届けします♪

この度、せんだんの家では、昔から変わらない味として、地域の方にも長年ご好評いただいているパウンドケーキを、カットした状態で販売させていただくことになりました。数種類あるパウンドケーキを食べやすい大きさにカットしておりますので、様々な味を楽しんでいただけたと思います。利用者さんと一緒にみなさまに喜んでもらえるよう、心を込めて製造しております。1カット100円(税込)です。



(せんだんの家 藤田 志織)

お問い合わせ先：せんだんの家  
電話番号：084-972-5544  
F A X：084-972-5549

### ～お知らせ～

福山市役所、福山市北部支所にて、それぞれ月1回販売しております。  
(販売日については、せんだんの家にお問い合わせください。)

## イ N F O R M A T I O N ン フ オ メ ー シ ョ ン

一れつ会で働く利用者さんのお給料(障害福祉サービスでは「工賃」と呼びます)は、どこから支払われるかご存知でしょうか。「福祉」だから、国や市から事業所に入るお金や補助金が工賃に充てられるのだらうと思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、利用者さんの工賃は、利用者さんが働いたことによって得られた生産活動収入(商品を買った代金や掃除などの作業をして得られた収入)から必要な経費(材料代や道具代等)を引いた残りのお金から支払わなければならないことになっています。

つまり、利用者さんが心をこめてつくったものは、買って頂いて初めて工賃につながります。「自分が働いたお金を貯めて欲しいものを買いたい」「収入が増えたら一人暮らしがしたい」という利用者さんの希望や願いを叶えるサポーターになっていただけませんか?



## 笑顔あふれるパステルアート

ほほえみで新しくはじめた「パステルアート」。ほほえみ内で人気の活動の一つになっています。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、ほほえみで取り組んでいる方法を簡単に説明しますと、

- ①コンテパステル(顔料)を削って粉状にします。
  - ②粉状のコンテパステルを指やコットンでキャンバスにのせていきます。
  - ③色をのせたキャンバスの上に型紙(図柄をくりぬいた台紙)を置き、くりぬいた箇所を消しゴムで消した後、別の色をのせていきます。
  - ④型紙を外し、描かれた絵を消しゴムで消したりぼかしたりします。
- こうして世界に一つだけの「パステルアート」の完成です。



利用者さんの作品



指を使って色をのせています 加しやすくなりました。

パステルアートは、描きたいものや色を、直感あるいはじっくり考えて選び、指を動かして描くことから「脳トレ」にもなると言われています。好きな色で自分を表現し、夢中になれる時間を生活に取り入れることで、心と体を健康に保つ効果も期待されています。

このパステルアートの手法は、「絵を描くのは苦手だな」と言われていた方でも、型紙を使うことで抵抗感が少なく、また、消しゴムで何度も消したり色をのせたりできるので、取り組みやすいようです。また、筆やペンを使うことが難しく、絵画活動へ参加できなかった方も参

加しやすくなりました。絵が完成すると、とびきりの笑顔で、「できたよ～。見て～」と声をかけてくださいます。その笑顔と声に、「とても素敵な色あいですね。」と、支援員の声も弾みます。絵を通じてコミュニケーションが広がっているのを感じています。これからも作者(利用者さん)の自己表現の応援とほっこりした時間づくりを続けていきたいと思ひます。(ほほえみ 中山 和恵)

## 訂正とお詫び

前回発行の地域だより118号に誤りがありました。  
2ページ 実習生特集 誤：ほほえみ 介護等体験実習 正：ほほえみ 保育実習  
大変申し訳ありませんでした。お詫びして訂正致します。

## 一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 500円/月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会(せんだんの家内)までお願い致します。TEL(084)972-5544



「QRコード」から過去の地域だよりをご覧いただけます。